

## 豊かな心育成委員会 事業報告

委員長 堀木 修吾

本年度、豊かな心育成委員会では、青少年が成長する過程に必要な、人や自然との直接的なふれあいをもつ事業を構築し、未来を担う青少年が心身ともに豊かに成長する為に、創造力を養うきっかけを作る事業を構築しました。

まずは、5月第一例会にて礼節の心と立ち向かう精神力を育む第29回わんぱく相撲浦安場所を開催しました。今回決勝トーナメントの設えを2勝勝ち抜け方式を採用し、再チャレンジする事ができる事で、強くしなやかな子どもの成長を促せたと考えます。実際に1敗した子どもがその後2回勝ち逆転で勝利した場面もあり、諦めない心が結果に表れた瞬間だと感じました。また、4年生から6年生の優勝者3名は千葉ブロック大会に進み、事前稽古では東京都相撲連盟会長の板倉利和様の体をお借りし、直接、本番さながらの指導を賜り決戦に臨みましたが、1勝6敗と敗退しました。ですが、唯一の1勝を優勝したチームから取った星という事で、諦めない心が成し得た勝利と子ども達も喜んでいました。

また、8月第一例会では親子で遊びながら自然との調和を肌で感じる例会として「いかだでGO!～親子でペットボトルいかだ in 三番瀬～」を開催し、親子で三番瀬の講演会で生態系を知ってもらい、実際に三番瀬において自然と触れ合ったことにより、子ども達に健やかな精神的成長を促すことに繋がったと思います。当日は真夏の野外で、しかも自然が相手の事業という事もあり、委員会メンバー全体で入念に準備を重ね、委員会メンバー1人1人が役割を全うした結果が大きな事故や怪我もなく、目標が達成出来たと思います。

そして、仲「間」・空「間」・時「間」という遊びに必要な3つの「間」で創造力を養う例会として「ドミノでGO!～3つの間で作る豊かな心～」を開催しました。事業当日は浦安青年会議所メンバーの参加が少なかったのが残念でしたが、日本ドミノ協会や東京学校浦安高等学校インターアクト部の皆様のご協力のおかげで、なんとか形になるまで並べ、披露する事ができました。ドミノを並べるという普段経験したことが無い体験をすることで、感受性を育み、この経験が豊かな大人へ成長する事への手助けになったと思います。

最後に、豊かな心育成委員会の事業は子どもたちだけでなく、保護者の方々にも参加していただきました。また、各事業にご協力いただきました関係諸団体、行政の皆様、浦安青年会議所メンバーのサポートのおかげで、今年度3つの事業を円滑に進めることができました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。そして、1年間委員長として職務を全うさせていただく事ができたのは、副理事長・副委員長・監事のスタッフのみなさまの甚大なるご協力と、委員会メンバーみなさんの確かな支えがあったからこそ成し得た事だと深く感じております。この1年間で私たち委員会メンバー1人1人本当に成長しました。その結果、それぞれ新たなステージへと旅立ちますが、この委員会で育んだ豊かな心で、これらかも頑張ってください。

一年間、本当にありがとうございました。